

令和5年度医療事業部第1回研修会(報告)

主 催 (公社)熊本県栄養士会 熊本医療事業部

日 時 令和5年 6月 17日(土) 12:30~16:30

会 場 名 熊本市医師会館

◇『令和時代の脳卒中患者の栄養管理一対策基本法や5ヵ年計画を踏まえて』

済生会熊本病院 脳卒中センター 特別顧問
橋本洋一郎 先生

多職種で介入することで長期化する人が減ってきている。
栄養士として自己研鑽に励まねば。と思わされる一言からご講演が始まりました。
脳梗塞の進展は生活習慣から、始まる。寝たきりにならないために最初から予防することが大切で、一番の原因は喫煙です。世の中の流れや、脳卒中の治療や医療連携の変遷について説明いただきました。
高血圧の管理が一番大切です。塩分制限、血圧の管理を日々行いながらやっていく必要があることを改めて認識できました。



◇『後方支援病院の役割』

「口から食べるプロジェクト」を通して～食べて、歩いて、排せつして、自宅へ帰る～』

桜十字病院 栄養管理部 主任
西久保百合子 先生

急性期から慢性期の病院を経験され発見のあった事例を交えてお話いただきました。在宅を考える際に、どのように栄養をとっていくか。を考えたときに、口から食べる事を推進していく活動(口から食べるプロジェクト)を行っています。
kt バランスチャートを使用して、弱みの原因を把握している。ステップアップ食でどの程度食べられるか評価を行っています。
食べられる体、姿勢、環境づくりが大切！室の高い在宅復帰のために、生きるを満たすためにどうしたら良いか、食事からの支援を行っていました。



実践に直結する知識を学べ、活動の実際も知ることができる研修会となりました。ハイブリッド開催となりましたが、会場参加 37 名、Web 参加 52 名で無事に終了することができました。
ご講演いただきました、橋本先生、西久保先生、誠にありがとうございました。